

## 有識者会議の 女帝・女系を 認めるという 報告書の問題点

### 伝統を踏まえるといいつつ、伝統を踏まえていない。 女帝・女系論の反論に答えられていない。

有識者会議は「女性天皇や女系の天皇はその正統性に疑問が生じるという見解もあるが、現在の象徴天皇の制度においては、皇統による皇位継承が維持され幅広い国民の積極的な支持が得られる制度である限り、正統性が揺らぐことはない。」と断じていますが、有識者会議の考える「正統性」と女系反対論者の「正統性」は全く違うものであり、その点是有識者会議のメンバーも理解しているにも関わらずここでいう「正統性」の中身を摩り替えている。

### 女帝・女系を認める正当な根拠が提示できていない。消去法的な理由付けに終始している。

皇室に秋篠宮殿下より若い皇族がいないことや旧皇族に対する否定的発言、そして女性の役割に関する希望的観測以外にまともに理由を説明していません。女帝の配偶者について、適任の人材を安定的に確保できるかなどの重要な問題には言及せずに、女帝・女系を認める長子優先案が安定的と断じています。

女帝の配偶者ともなれば、その負担は計り知れないほど大きく、民間人としての生活しか経験していない一国民が一国を背負うような重圧に耐えられるか（現に民間から皇室に入った美智子様は妃殿下時代に、また雅子様も心労から体調を崩され長く公務につけないでいる）と言った事も全く議論されていません。

現に**有識者メンバーは無責任にも配偶者問題は我々の管轄外で関係がないと発言**しています。

民間に降嫁する清子内親王殿下でさえも長く独身であり、最近になってやっと降嫁されましたが、国民の耳目を集める皇族を配偶者に持つと言う事はそれだけ大変な事であるといえます。民間に降嫁する内親王でさえこのような状態であるのに有識者会議は何を根拠に女帝を認めれば安泰などと言っているのでしょうか。**安定的に後継者を確保する事が重要だというならば、なぜ旧皇族の復帰や養子を執拗に反対し、女帝・女系ありきで押し進めるのでしょうか。**

**有識者会議の言動は全く矛盾している**と言えます。

## ●終わりに

問題点を抜き出し、要点をQ&A等で表しましたが、ここには書ききれないほど問題は山積みです。

女系を容認を押し進める有識者会議は、皇室典範は変えよう。天皇家のルールも自分たちの手で作り変えようとしています。当事者である、皇室の方々の意見は全く無視し、皇室問題になんら見識の無い、たかだか10人前後の人間の意見のみで私たちの国のあり方に関わる重大な問題を強引に決めてしまおうとしているのです。このような事を許してしまってよいのでしょうか？

以下に有識者会議メンバーの発言を載せておきます。

もし少しでも何かを感じたなら、ひとつでもいい、声を上げて下さい。政府に声を届けて下さい。

### 有識者会議・吉川座長の発言

「（皇族方の）意見を聴く考えは全くない」「意見を聴くことは憲法に反する」

「聴いてはいけないという政府の判断だった」

「（寛仁親王殿下の御発言について）それによって、どうということはない」

「歴史は我々が作っていく立場で検討する」

「私たちは歴史観や国家観で案を作ったのではない。」

「（女性天皇の配偶者問題について）その問題はわれわれの使命の外」

### 有識者会議・メンバーの発言

「皇室がなくなっても日本はどうにもなりはしない。」

「男系維持派は勝手に言ってるという感じです。男系男子にこだわれば皇太子で終わりです。どこから男系男子を呼んでくると言っても、六百年前に分家した旧宮家しかいないんですよ。

そんな無理を通そうとするのは、**よっぽど頭の悪い奴か男性優位主義者。**

**とにかく人間蔑視の思想ですよ」**